

# 母校百周年事業に協力を!

## 趣意書

本校は創立百周年を迎えるにあたり、本校の歴史を振り返ると、先人の志を継ぎ、社会に貢献する人材を育ててきたことに感謝いたします。この機会に、本校の歴史を後世に伝えるとともに、社会に貢献する人材を育てることに努めます。

本校は、創立百周年を契機として、本校の歴史を振り返ると、先人の志を継ぎ、社会に貢献する人材を育ててきたことに感謝いたします。この機会に、本校の歴史を後世に伝えるとともに、社会に貢献する人材を育てることに努めます。

## 事業計画

- ### 1 記念事業計画
- (1) 記念式典 (平成33年11月予定)
  - (2) 同窓会記念祝賀会 (平成33年11月予定)
  - (3) 100周年記念ゴルフコンペ (平成33年10月上旬)
    - 中須ゴルフ倶楽部
  - (4) 記念事業
    - ① 母校教材等の充実 500万円
    - ② 記念講演 150万円
    - ③ 諸事業・事務費 150万円
    - ④ 創立100周年記念史 500万円
    - ⑤ 下松工業会館のリニューアル 1,000万円
- ### 2 募金計画
- (1) 募金目標額 2,300万円
  - (2) 募金額 1口 2,000円以上
  - (3) 募金期間
    - 平成25年7月10日～平成33年3月末日まで
    - 尚、1人、1万円程度を目標としており、毎年、積立方式でご協力いただくと幸甚です。

**事業募金状況**  
(平成27年12月現在)

420万円 / 目標 2,300万円



事務局長、お待たせです。

C 54 M H  
C 53 M U  
C 45 A K  
C 34 Y T  
C 33 S T  
H F  
E 47 S N

## 女子会開催

母校百周年記念事業は基本計画を策定し、平成二十五年度より事業基金の募集を開始してまいりました。母校、当工業会にとつて創立以来の大事業となりま。どうか趣旨を御理解いただき、募金に協力をお願いいたします。

## 「夢」チャンネル「母校」で講演

十月某日、天気晴朗の佳日、クラブメンバーで七名の熟女の方々に参集頂き、定例会が開催されました。会のテーマは「母校」の活性化ということで、色々ご意見を伺うことができました。特効薬になる効果的な対応策はありますか?と質問された方、山本英昭氏が講師を務められました。山本氏は昭和六十年電気料を卒業され、現在は産業用及び自動機器のデザイナー及び、設計を専門とするフリーランスとして活躍されています。講演は自身の学生時代のメモリーやエピソードを交え、話題を次々に提供される展開に、思わず引き込まれてしまいました。力強く夢に向かって邁進する、挑戦することの素晴らしさが理解できました。人生の進路を考えたとき、参考となる講話でした。他方、山本氏はバイクチームオーナーとして、鈴鹿8耐へ懸ける情熱も披露されたことで、チャレンジすることの楽しさも伝えられており、この面でも生徒諸君のイメージアップに貢献されたと感じました。

## 雑誌「彩沢」詳報

前号で雑誌「彩沢」を掲載した件をご報告しましたが、今号では貴重な資料であるその内容の一部を、紹介させていただきます。第十四号(昭和三十三年発行)「巻頭言」として三年生市川隆雄氏が、次のように格調高く述べています。「産業革命以来二百年、今日の科学の進歩を当時の誰が想像し得たであろうか。特に工業界における機械化は実に目覚ましいものがある。そのメカニズムの上に立つべく常に頭脳を休める暇もない我々は、いつか心のオアシスをどこに求めたいのか、また、高工生に不足しがちな豊かな情操を身に付け、幅広い視野を持つにはどうしたら良いのか。このように考えるとき、我々は文学、芸術等の人間のゆとりを与えるものの必要性を痛感する。まさに工業人として生きるには、文学・芸術が必要不可欠であるとの哲学的考察が展開された。おり、思考レベルの高さを窺い知ることができ、共感に学成の場を与えられていた我々も、もつと自分の個性を伸ばし、味のある、スケールの大きい人間になるように努力しなければならぬ」と結んでおられます。

## 活動状況報告

- 平成二十七年年度の事業計画として、組織の充実と強化・広報活動の推進・文化レクリエーション活動の推進・母校生徒支援事業・地域行事等への参加を掲げ実施しています。
- これ等の活動状況を報告いたします。
- ### 1. 組織強化活動
- ① 学年幹事会の支援  
新学年幹事の増員、幹事との交流会を実施し、幹事会の支援・充実を図っています。
- 平成二十七年三月一日卒  
(平成二十七年三月一日卒)
- 野上晃一 (M27)  
齋藤 晴 (S27)  
久行 時 (S27)  
齋藤 涼太 (S27)  
綿田康平 (S27)  
有馬隆翔 (I27)  
山崎彩太 (I27)  
青井章馬 (C27)  
石丸大 (C27)  
藤原雄大 (M27)  
山田光志 (M27)
- ② さくらクラブ (女子会)の育成・充実  
十月三十一日会合を開き、藤本代表七名が出席地道に拡大の努力を行ってまいりました。
- ### 2. 母校生徒支援活動
- 本年度も母校生徒支援活動として、育英奨学金事業・文化体育活動支援事業・助成金の交付・庭木剪定作業・母校面接練習指導・母校体育祭への参加等、を実施いたしました。
- ① 母校体育祭に参加  
九月五日に開催された母校体育祭に河村会長五名の会員が参加し、体育祭を盛り上げました。
- ② 文化体育活動  
平成二十七年九月十八日母校からの要請に基づき助成金を交付し、ハンドボール部、ソフトテニス部、吹奏楽部に交付し、吹奏楽部にバトントントン部、卓球部、弓道部に支援。
- ③ 母校面接練習指導  
九月十四・十五日二日間、生徒の就職活動の為に面接試験に向けて面接練習の指導に協力しました。
- ④ 庭木剪定作業  
十一月十五日母校正門付近の庭木剪定作業を実施しました。
- 大木さん、中津井理事をはじめ、母校の先生、役員の方々のご協力のおかげで大変きれいになりました。
- 事務局では、庭木の剪定作業は毎年継続して行きたいと考えています。
- 高所での剪定、運搬処分、全般に亘つての清掃作業等、一日作業になり、多くの人手が必要とされた協力をお願いした。協力をボランティアを幅広く



## 地域支部紹介

福岡支部  
福岡在住者六十名ばかりですが、当日参加者は八名本部に加えて上田校長も参加頂きました。工業会の活動報告の後校長から情報電子科作成のDVD(六分)で「母校現状」報告電気科の校舎が新築中のパネルも沢山見えました。来年には完成の予定と「実習棟はどへ行ったの?」採択案がない。「スタンドが大きい!」自分の卒年は忘れ大騒動。校長からは「来年も新バージョンで話してまいります」と嬉しい話がありました。BGMが応援歌であったことから「山工応援歌」「行進曲山工健児の歌」を大合唱「爆音」の方が正しいでしょうか。再会を固く約束。散会した。次回開催は平成二十八年十一月五日(土)ステーションホテル小倉十二時より新しい参加者ができます様子を聞き合いに声をかけて頂きます様お願いいたします。

東京支部総会  
関東地区の在住者で成り立っている東京支部の総会は例年通り同会の事務局長の計らいで霞が関ビル内にある東海大学友会館(35階)であった。

出席者は二十五名参加で十二時三十分より開催の運びとなり、土谷同支部長より「1年1回集まるせつやくの機会なので旧交を温めて頂きたい」と挨拶。

河村正浩会長は二〇二一年の創立一〇〇周年に向けて取り組みへの協力を呼びかけた。上田兎久下松工業校長は今春の卒業生の進路状況や部活動など在校生の活躍を紹介。また母校在校生の編入による学校の歴史や現在の様子を撮影したDVDを懐かしみながら鑑賞したほか、個々の近況報告またアカペラでの歌謡ショーとなり、最後に藤田文明同会理事リーダーのものとなり、楽しく大いに盛り上がった総会となった。

尚、東京支部総会に開催の模様を掲載されました。



## 大島支部総会の開催

暖冬により過ごしやすい日々が続く十二月十二日、周防大島町の中心部土居地区に位置する「お茶屋」にて当地大島支部の総会が開催されました。本部より副会長、専務理事の参加を頂き総員十三名の総会となりました。乾杯の直後、会場係員より、「只今十九時五分です、飲み放題は今から二時間です」との時間確認があり、誠実な営業方針に感服しました。ロカル色が溢れる、お魚料理の美味しいお店でした。是非みなさんご利用下さい。宴席では寮生活や、通学時の思い出に花が咲き、楽しいひと時を堪能しました。次回の再会を約束し散会となりました。

みなさん、お疲れ様でした。

柳井支部総会に参加して  
下松工業会の柳井支部総会には、いつも楽しく参加させてもらっています。総会の案内が届くのが楽しみです。開催時期は、毎年二月の最終土曜日で、今年平成二十七年は二月二十八日でした。会場は柳井市の「ペル」で決まっています。この総会の一番の楽しみは「ジャンケン大会」です。これは会費以外に、皆様の寄付とスポンサーの方の協力によって素晴らしい賞品があるのです。一等は自転車、二等は蘭の鉢植え、三等以下には地元特産のいろいろなものをご用意されているのです。私も、今迄に旅行カバン、自転車、その他を頂きました。ありがとうございました。これが皆様にとつても、最大の楽しみではないでしょうか。総会には皆さん和気藹々と楽しく参加されています。まだ参加されたことのない方は是非参加されることをお勧めします。総会は、毎回三十名程度の参加があります。



## 陸上部有志会

平成27年3月29日  
下松市 和食処原田  
参加者 六名

幹事 池永・西村  
五十一年振りの再会者もあり、社会人としての環境変化報告、当時の練習や試合の思い出の花が咲いた。古希を過ぎてても会社経営や、県陸上審判員、各地区の役員を務めて等、頑張っている話で盛り上がり、予定の三時間はまたたく間に過ぎて行き、大変有意義な一日であった。



## クラス会

平成27年4月22日 23日  
「姫路」  
参加者 二十一名  
幹事 廣龍勇  
世界遺産「姫路城」見学を兼ね、市内のホテルでクラス会を開催した。当会は夫婦同伴としたところ、今年も一年毎に開催する運びとなり、今回は東京で今回同様に夫婦同伴で開催することになった。我々M34卒は当年高年齢者の仲間入りの歳となり、後何回クラス会が出来るか判らないが、自立生活が出来、健康に留意して行うと誓い合った。

